

令和5年5月25日（木）

ニコニコ月間（いじめ防止啓発強調月間）について

いじめは、いじめを受けた生徒の心身の健全な成長及び人格の形成に重大な影響を与えるだけでなく、人権に関わる重要な問題です。

鹿児島市教育委員会では、生徒の皆さんが、いじめのない楽しく思いやりのある学校生活を送れるように、また、生徒の皆さん一人一人のいじめ防止への理解と認識を深め、実践への意欲を喚起するために、5月25(ニコ)日から6月25(ニコ)日までの1か月間を「いじめ防止啓発強調月間（ニコニコ月間）」と設定しています。

さて、皆さんは「猫ひろしさん」を知っていますか？お笑い芸人でもあり、オリンピックにマラソンで出場したアスリートでもあります。その猫ひろしさんのメッセージを紹介します。

僕は小学生のときから、背が低くて、太っていて、顔も老けていた。学校では「チビ」「デブ」「おやじ」と言われ、悔しくてけんかもした。そのうちわかかってきたことがあります。

いじめに回る子って実は大したことない。自分の意見がなくて、1対1になると何もしゃべれない。金魚のフンみたいに強い人について回るだけ。そのくせ、黙っていると調子に乗る。次第に「あ、真剣に相手をするのは時間のムダだな」と思うようになりました。

自分の中に芯がない人、他人の後ろをついて回るだけの人が、僕は一番かっこ悪い（と思う）。僕は何事にも「猫まっしぐら」にのめりこんできた。小学校ではサッカー。中高では卓球。どちらも実際の成績はたいしたことなかったですけど、やっているときは本当に本気でプロになるつもりだった。

そして、今はお笑いの仕事に夢中です。マラソンでオリンピックをめざしてカンボジア国籍を取ったので「芸人やめてマラソン選手になるんですか」と聞かれますが、毎日走り、苦しい思いをしても、常に話題を発信し続けるのが芸人の仕事だと思ったからがんばれた。他の芸人にはできない僕の武器だと思います。オリンピックに出場できたらよかったけど、それがすべてじゃない。

本当に強い人には自分の意志がある。あなたにも早く夢中になるものが見つかればいいと思います。そうすれば周りの声も気にならない。いじめられている人を見ればかわいそうと思うでしょ。そこで助けられるかどうか。同調して人をいじめたり、ただ見ていたりするのは情けない。今のあなたは自分を持って生きていますか。